



TOHOKU
UNIVERSITY

Volunteer Seminar Journal

～東北の今を未来につなぐ仲間づくり～

3・11から1年が経過しましたが、現在も、未曾有の大震災の苦難から抜け出せずにいる被災者は多数に上ります。そのような被災者の支援と東北の復興に向けて、ボランティア活動を行っている学生や社会人の方は多いものの、まだまだ十分な数ではありません。この「Volunteer Seminar Journal ボランティア紹介特集号」では、そういった学内外のボランティア団体による支援活動の情報をお伝えすることで、皆さんが多くの人とつながる一歩を踏み出すきっかけになればと考えています。様々な支援の形があります。ぜひ自分にできる活動を探してみましょう。

** 掲載団体 **

NPO法人アスイク
東北大学地域復興プロジェクト"HARU"
L&D仙台
特定非営利活動法人キッズドア
TEDxTohoku

ボランティアインフォ
Tohoku Law Net (TLN)
情報ボランティア@仙台
学生による地域支援活動団体 みまもり隊
一般社団法人ワカック

NPO法人アスイク

〈団体・活動の紹介〉

NPO法人アスイクは東日本大震災後に立ち上がった、子どもたちの学習をサポートする民間の非営利団体です。震災直後の2011年3月から仙台市内の大学生に呼びかけて、4市町9ヶ所の避難所で人間関係づくりを大切にしながらマンツーマンでの学習サポート活動を展開。現在では仙台市内4ヶ所の仮設住宅団地で継続的な活動をする一方、借り上げ住宅等で生活される方の受け皿として、仙台市宮城野区榴ヶ岡にコミュニティ型学習支援センター『19Tsutsujigaoka』も立ち上げました。大手予備校や行政とも連携し、経済的な事情によって子どもが負うハンデを少しでも減らすべく、活動を続けています。

〈主な活動場所〉

コミュニティ型学習支援センター『19Tsutsujigaoka』（仙台市宮城野区榴ヶ岡）
仙台港後背地6号公園
鶴巻1丁目東公園
荒井小学校用地
JR南小泉アパート

〈一言メッセージ〉

NPO法人アスイクでは、子どもに寄り添って子どもの成長と一緒に喜んでくれる方、復興に携わる活動に関わりたくい方、教育に関するスキルを磨きたいと考えている方を歓迎しています。

これまで勉強を教えた経験がなくても大丈夫。専門家と連携した研修も用意しています。また、無理なく続けられること、ボランティア自身も楽しめることを大事にしています。勉強やアルバイトの合間を使って、週1回でOK（ただし、3ヶ月以上継続できる方）。ボランティア同士の交流イベントも開催しています。少

しでも教育やボランティアに興味のある方は気軽にお問い合わせください。

〈代表者・担当者〉

代表理事：大橋 雄介
担当者：萩原 拓哉

〈お問い合わせ先〉

NPO法人アスイク
住所：仙台市宮城野区榴ヶ岡5丁目3-21 コーポ小松101
Tel: 022-781-5576
E-mail: info@asuiku.org
URL: <http://asuiku.sendai-net.com/>



東北大学地域復興プロジェクト"HARU"

〈団体・活動の紹介〉

東北地域の復興支援、地域再生を目的として、東北大学の学生有志が集結しHARUは結成されました。本団体は、東北大学の公認を得ており、大学と連携しながら、学生であることの強みを生かして以下の3つのプロジェクトを行っています。また、プロジェクトを通じて学んだことをブログや、シンポジウムなどで積極的に発信し、東北大生の視点で、東北の今を伝えています。

○教育支援プロジェクト

仮設住宅で小・中・高生の自習支援などをするプロジェクト。

○図書館プロジェクト

東北大学附属図書館の復元、破損資料の修復手伝いなど。

○菜の花プロジェクト

東北大学農学研究科「食・農・村の復興支援プロジェクト」と共同で津波被害を受けた田畑にアブラナ科の植物を試験的に植え、開花などの節目でのイベントを企画中。

〈主な活動場所〉

活動場所は、活動ごとに異なり、それぞれ以下の通りです。

○教育支援プロジェクト…岩沼市、石巻市など

○図書館プロジェクト…東北大学図書館

○菜の花プロジェクト…仙台市若林区（仙台市農業園芸センター、個人所有の農地）

〈一言メッセージ〉

この前久しぶりに被災地に行ってきました。（卒論などあらずと行ってなかったのが怖かったのですが・・・。）

——『また来てくれてありがとう』——単純な私は、この笑

顔のために、また頑張ろうという思いがすんなり心に入ってきました。自分は、なぜボランティアを始めたのかは実はよく分かっていません。でも、案ずるより産むが易し、といますか、今、ボランティアはごく普通に私の生活の中にあります。震災前はそういう活動なんてひとつもしたことなかったんですけどね…。できることはなに？必要とされていることはなに？学生だけの団体が復興に携わるというのは、本当に難しいです。外から見たら、かっこよく見えるかもしれないですが、何度も失敗や挫折を繰り返しました。それでも、やりがいはあります。少しでも私たちの活動に興味があったらいつでも声をかけてくださいね。東北大学生だからこそ、できること、一緒に考えませんか？（Y. K.）

〈代表者・担当者〉

北原 充（東北大学経済学部4年）

〈お問い合わせ先〉

E-mail: tohoku.gakusei.fukko@gmail.com

H P: <https://sites.google.com/site/haruthuv/>

ブログ: <http://tohokugakuseifukko.blogspot.com/>



L&D仙台

〈団体・活動の紹介〉

当団体は、震災直後に発足し避難所の夜間ボランティアや支援物資の配送、沿岸地域のがれき撤去など様々な活動を行ってきました。

L&D仙台では現在、主として以下4つの活動を行っています。

○若林区日辺仮設住宅支援

2011年の6月ごろから今年の2月いっぱいまでは仮設住宅内の子供たちを対象とした学習支援を行ってきました。3月以降はニッペリア仮設住宅内の自治体と連携し、夏祭りなどの企画のお手伝いを行っています。

○亘理町旧館仮設住宅

毎週日曜日の14時から17時でカフェサービスを行っています。カフェサービスでは、特にお年寄りや子供がお茶を飲んだり遊んだりしに来ています。特に子供たちは遊び相手を欲しがっているようで、来るとすぐに「あそぼー！！」と寄ってきます(笑)おばあちゃん方も、自分で作ったお茶請けを持ってきてくれたり、お茶を飲みながら編み物をしたりと、とてもアットホームな雰囲気やっています。

○岩沼市仮設住宅

月に一回から二回、岩沼市仮設住宅において子供たちの学習支援及び公園での遊びを実施し、子供たちとの交流を深めストレスを発散させる場所を提供しています。子供たちの楽しそうな笑顔を見ると、活動の意欲が湧いてきます。

○広島大学OPERATIONつながりとの連携

広島大学のボランティア団体OPERATIONつながりは、震災後から今年の3月までで通算四回、ボランティアスタッフを派遣し

て仮設住宅向けに交流会などの活動を行っています。

当団体では、現地のコーディネーターなどのお手伝いを行い、団体間の交流を深めています。

〈主な活動場所〉

- ・若林区日辺
- ・亘理町
- ・岩沼市

〈一言メッセージ〉

当団体では一緒に活動してくれるメンバーを随時募集中です！みんな仲良く和気あいあいと活動したりお酒飲んだりしているので、ボランティア団体なんて堅苦しいものと思わず、ぜひ一緒に活動しましょう！

〈代表者・担当者〉

安藤 大樹（東北大学大学院農学研究所修士課程1年）

〈お問い合わせ先〉

E-mail: landd.sendai@gmail.com



特定非営利活動法人キッズドア

〈団体・活動の紹介〉

震災や母子家庭等で経済的に困難を抱える中学3年生を対象とし、大学生等ボランティアによる無料の高校受験対策講座を中心に、学校・教育委員会などと連携して学習支援等を行っています。特に震災後による転居や家庭環境の変化によって、子どもたちが夢や目標を諦めることなく、将来の選択肢を増やせるように、受験対策やキャリア教育、異文化交流、放課後の居場所作りなど、子どもたちに必要なことを様々な団体と一緒にしています。

〈主な活動場所〉

宮城県仙台市・南三陸町、福島県楡葉町 他
(2011年度実績：宮城県仙台市・南三陸町・気仙沼市、岩手県釜石市、福島県会津若松市)

〈一言メッセージ〉

勉強をただ教えるのではなく、子どもたち一人ひとりに寄り添って一緒に学ぶことのできるボランティアを募集しています。

企業や海外の団体等と一緒に、英語や異文化学習、スポーツ・レクリエーション、キャリア教育にも取り組んでいく予定なので、「これをやってみたい!」というものがあれば、企画を持ち込んでください。

英語でコミュニケーションできる方は、特に歓迎です。

〈代表者・担当者〉

片貝 英行

〈お問い合わせ先〉

E-mail: tohoku@kidsdoor.net

Tel: 080-3338-1776 (宮城県担当)・080-3337-9893 (東北本部)



TEDxTohoku

〈団体・活動の紹介〉

TEDxTohokuの企画と運営

TEDとは？

Technology, Entertainment, Designの略であるTEDは、アメリカ発の国際的なカンファレンスです。各分野の第一線で活躍される方をスピーカーに迎え、3分～20分のプレゼンテーションを通して、それぞれのアイデアを発表していただきます。これまで、政界からビル・クリントン氏やアル・ゴア氏、IT界からビル・ゲイツ氏やセルゲイ・ブリン氏、他にもマイケル・サンデル氏やU2のボノなど、何百人ものリーダー・専門家・活動家・アーティストが登壇されてきました。「Ideas Worth Spreading」という理念のもと、異なる分野の人々が自分のアイデアを世界中の人々と共有することで、より良い社会を作ることを目指しています。

TEDxとは？

TEDxイベントは、独自に組織されたローカルなイベントであり、全世界60カ国以上で開催されています。日本でもTEDxTokyoやTEDxOsakaなどが開催されてきましたが、東北で開催されるのは2011年10月30日の会が初めてであり、東北大学生を中心に、仙台で学ぶ大学生によって企画・運営されました。TEDxTohoku ～Asking the 3.11 Generation～では、東北の復興・発展の最前線で活躍されてきた12名の方をプレゼンターとしてお招きし、東北の過去・現在・未来についてのアイデアを語っていただきました。イベント当日は、川島優志氏 (Google ウェブマスターマネージャー)、ポール・ベネット氏 (IDEO Chief Creative Officer)、飯沼一宇氏 (石巻赤十字病院院長)、江良慶介氏 (東北コットンプロジェクト) といった多彩な登壇者に加え、国内外から500名以上の方にご参加いただきました。今後も、ここで生まれた参加者・登壇者のコミュニティを広げていくと共に、今年度のTEDxTohokuに向けた準備を進めていきます。

〈主な活動場所〉

主に仙台 (場所はその都度変わります)

〈一言メッセージ〉

TEDxTohokuの講演の様子をYouTubeにて公開しております。
(「TEDxTohokuウェブサイト→Archives」からご覧になれます) ご視聴・動画のシェア・次回イベントへのご参加、どうぞよろしくお願いいたします！

〈代表者・担当者〉

共同代表：余力 悠司 (東北大学工学部4年)

亀井 潤 (東北大学工学部4年)

担当：渡辺 絵理 (東北大学文学部3年)

〈お問い合わせ先〉

TEDウェブサイト: <http://www.ted.com/>

TEDxTohokuウェブサイト: <http://tedxtohoku.com/>

Twitter: @TEDxTohoku (フォローよろしくお願いします!!)

Facebook: TEDxTohoku



ボランティアインフォ

〈団体・活動の紹介〉

ボランティアしたい人とボランティアしてほしい人をつなげることをミッションに震災後から活動しています。被災地で活動するボランティア団体やNPOなどと連携し、「こんなボランティアさんに来てほしい」という要望に応じています。ネットで探したり、現地を調査して集めたボランティアの募集情報はデータベース化し、Yahoo!Japanなどの復興支援サイトに掲載し全国に向けて発信しています。被災地を訪問した際に私たちが掲載した情報を見て、ボランティアに参加したという声を聞くと、やりがいを感じます。

〈主な活動場所〉

気仙沼、石巻、東松島、亘理、山元町など、宮城県沿岸部の被災地すべて、その他岩手県などでもボランティア団体と関係を築き、サポートできることを提案して復興の加速に努めています。

〈一言メッセージ〉

常駐スタッフは2人ですが、学生から大人まで多くのボランティアスタッフの協力のおかげで活動を続けてきました。特定の地域ではなく様々な地域と関わりを持てるので、活動の幅が広がります。24年3月11日には東北大学くらホールで40以上の支援団体を集め、追悼とこれから未来へつながるアクションのためのイベントを開催し2000人の来場者と団体がつながりました。まだまだ若い団体ですが、これから東北のために何かやりたい！という熱い気持ちを持った方ならきっと成長に繋がる経験が出来ると思います。

〈代表者・担当者〉

大藤 多香子

〈お問い合わせ先〉

Tel: 090-1933-9823



Tohoku Law Net (TLN)

〈団体・活動の紹介〉

私たちは、東北大学法科大学院の在校生・修了生で組織された学生ボランティア団体です。主に、子どもたちを対象とした、以下の活動を定期的に行っています。

○NPOアスイクの活動

毎週、各活動場所にて、学習サポーターとして、小中学生に勉強を手伝ってあげながら、子どもたちのそばに寄り添い、その心のケアも図っています。

○にじいろクレヨン活動

毎週日曜日、仮設住宅を訪問して、そこに住む子どもたちと遊んだり、住民の大人の方の話し相手になったりしています。また、石巻で行っている同様の活動に参加することもあります。

○NGO Save the Children Japanの活動

震災で大きな被害を受けた地域の子どものとともに、新たなまちづくりを考え、その声を社会に発信し、その実現を目指す活動を行っています。具体的には、子どもたちを主体に、各自自治体や国に向けての意見書を作成・提出したり、サミットを開催して子どもたちの意見を発信する場を設けたりしています。

〈主な活動場所〉

活動場所は、活動ごとに異なり、それぞれ以下の通りです。

○NPOアスイク…仙台市近郊の5つの仮設住宅、榴岡公園近くの直営学習スペース

○にじいろクレヨン…仙台市（高砂一丁目公園仮設住宅）

○NGO Save the Children Japan…石巻市、岩手県陸前高田市、岩手県山田町

〈一言メッセージ〉

それぞれの活動でいろんな子どもたちと接していますが、どの活動でも、子どもたちの笑顔を見ると、サポートしている私たち

自身が元気をもらえて、それが活動に参加するモチベーションになっています。子どもと接した経験は不要で特に難しいことはなく（実際、子どもが苦手という人も参加して、子どもが好きになったそうです(笑)）、ただ誰かのために「何かしたい!」という気持ちがあれば誰でも参加できる活動です。興味があれば、ぜひお気軽にご連絡いただければと思います。

〈代表者・担当者〉

佐藤 祐希（東北大学法科大学院3年）
E-mail: brave3101985@yahoo.co.jp

〈お問い合わせ先〉

代表・佐藤までご連絡ください。なお、当団体のHPもご覧ください。

<http://homepage3.nifty.com/yoshimeiji/index1-1.html>



情報ボランティア@仙台

〈団体・活動の紹介〉

ブログと紙媒体を中心に、被災地の現状や復興支援の紹介など、震災に関する様々な情報を発信しています。情報ボランティア@仙台は、宮城の地方紙・河北新報が、ボランティアの情報を発信するために学生の力を借りたい！と呼びかけ、2011年4月に発足しました。取材した内容は河北新報の記者さんによる推敲を経たのち、地域SNSサイト「ふらっと」内に掲載されます。現在は約20名の学生が、河北新報社の記者と共に、意欲的に取材を行っています。

被災者やボランティアたちが、何を行っているのか？何を必要としているのか？何を目指しているのか？あなたの目で、あなたの感性で、あなたの言葉でたくさんの人たちに伝えてみませんか？

〈主な活動場所〉

情報ボランティア@仙台は、被害が激甚であったにもかかわらず、メディアによる情報発信が少なかった宮城県中部・南部の情報を発信するために生まれました。そのため、取材する内容は仙台市およびその近隣が中心です。もちろん、ほかの地域で取材を行うこともあります。

〈一言メッセージ〉

震災からの復興・地域の再生にも、「いま、何が起きているか」を伝えるメディアの存在は欠かせません。私たちは、地域に密着したメディアとして、被災地からの情報発信を目指します。メディア、情報、SNSに興味がある方、様々な人の話を聞くのが好きな方へ。

私たちと一緒に取材に出かけませんか？

学生による地域支援活動団体 みまもり隊

〈団体・活動の紹介〉

宮城県内の学生が主体となって運営し、被災された東松島市の農家の方を対象に活動している学生団体です。被災地へ足を運びお手伝いさせていただくことによって、地域の方々が希望、安心感を得る手助けをし、農家の生活基盤の再生へ導くために。そして皆様が震災復興に向けて未来へと歩んでいく姿をこれから『みまもる』ために設立されました。

昨年6月から東松島市にある苺の専業農家さんの汚泥・漂流物撤去、ビニールハウス撤去・調整などにより、再興をお手伝いしてきました。そして12月にそのビニールハウスで苺が収穫されるようになり、クリスマスに合わせて苺の収穫を祝う収穫祭を、みまもり隊主催で行いました。この他にも、東松島をより深く知ってもらおうと私たち団体が主催して、ゲストを招いて知識を深める勉強会という企画も行っていました。

今年も農地復旧を継続することで、農家の生活基盤を再生したいと考えています。今年春からは主にネギやレタスなどの野菜の種まきや苗植えを行う予定です。作業を続けながら農家の方とコミュニケーションをとり、農作物の収穫までお手伝いさせていただきたいと思っています。

〈主な活動場所〉

農地復旧作業の日：宮城県東松島市

ミーティング：仙台三越定禅寺通り館5階エルパーク仙台（2週間に1回14時から）

〈一言メッセージ〉

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。待ちに待った大学生活でこれから四年間、自分は何をしようか迷っていませんか？サークルやバイトなどやりたいことたくさんありますよね。そんな迷っているあなたにこちらも要チェックですよ。こちらは

〈FAQ〉

Q：一度の取材には何時間くらいかかりますか？

A：平均して、取材に1～2時間、記事の執筆には3～4時間程度をかけています。

Q：家や大学から遠い場所に行くとき、交通費の支給はありますか？

A：公共の交通機関を利用した場合は、交通費が支給されます。

〈代表者・担当者〉

橘 宏卓（東北学院大学工学部4年）

〈お問い合わせ先〉

ブログ：<http://flat.kahoku.co.jp/u/volunteer16/>

facebook：<http://www.facebook.com/jyoho.volunteer.sendai>

興味がある方はお気軽にお問い合わせください。

Tel: 022-211-1158（河北新報社ネット事業部内）

E-mail: kahoku_volun16@yahoo.co.jp



学生団体といっても、学生だけで作り上げたグループであるので他のサークルとは一味違います。いいなと思ったことは即実行といったアクティブな子たちが多く、そして農作業なのに女子が多い笑。こんな先輩たちがたくさんいるから一度会いに行ってみませんか？

みまもり隊は私にとっては家族です。出来たばかりの団体で一時はどうなるかと思ったけど、みんなと力を合わせて最後は苺農家さんの復旧が出来て、苺も実り、大きな成長の一步をみんなで踏むことができました。その後の飲み会も最高。こんな感動する青春を味わえるみまもり隊にぜひ見学してみてね☆当日ボラも募集中!!

〈代表者・担当者〉

木村 彩香（東北学院大学3年）

〈お問い合わせ先〉

佐藤 理恵 E-mail: mimamori.311@gmail.com



一般社団法人ワカツク

〈団体・活動の紹介〉

ワカツクは大学生が活躍できる場を提供することで、大学生がキャリアをつくりあげていくためのサポートをしています。名前の由来は「若者が地域をつくる」の略です。若者がチャレンジするからこそ、大人たちがその想いに共感し共に動くことで、宮城、そして、東北の未来をつくることができると信じて、この名前をつけ、日々、活動をしています。

具体的な活動として、宮城の企業やNPO、復興支援団体へのインターンシップ・ボランティアの紹介やその活動のケアを行っています。その他、震災復興に関わる団体にインタビューを行い、ホームページ上で紹介するポータルサイトの運営や各種大学生向けのキャリアセミナー・イベントを企画・実施をしています。

〈主な活動場所〉

仙台市青葉区北目町4-7 HSGビル4階（東北大学片平キャンパスのすぐそばです！）

〈一言メッセージ〉

ワカツクでは〈団体・活動紹介〉に記載したプロジェクトと一緒に考え、仲間として活動するメンバーを募集しています。圧倒的な数の社会人・大学生に出会える場、大学生でも社会で通用する力が身につきます。宮城の復興はもちろんのこと、自分自身を成長させたいという方にぴったりの現場です。また、活動の斡旋だけでなく、専属キャリアカウンセラーによる就職活動や将来への相談も承っています。

なお、4月7日（土）15時に東北大学片平キャンパスさくらホールにて、仙台の大学生が運営するサークルやボランティア団体を20団体以上、一堂に集めて、サークル合同説明会・新入生歓迎会を行います。興味ある方は、問い合わせ先のメールアドレスに参加をお申込下さい。

若者の手で、宮城、そして、東北の未来を一緒につくっていきましょう！

〈代表者・担当者〉

代表者：渡辺 一馬 担当者：坂上 英和

〈お問い合わせ先〉

一般社団法人ワカツク

〒980-0023 宮城県仙台市青葉区北目町4-7 HSGビル内

TEL: 022-721-6180 FAX: 022-721-6181

HP: <http://www.dunamis.jp/>

若創ホームページ: <http://www.wakatsuku.jp/>



ボランティアセミナーのご案内

東北大学ボランティアセミナーでは、東日本大震災の被災地域の復興に向けたボランティアに関する情報提供を行っています。具体的には、現在行われているボランティア活動の紹介や、被災地に関すること、ボランティアを行うにあたっての注意点など、これからボランティア活動を始めようと考えている皆さんにとって、きっと役に立つ情報が得られるはずです。また、実際にボランティア活動に参加している学生たちの話も聞けるので、やってみようか迷っている方にもオススメです！

4月には、「震災ボランティア スタートアップフェア～東北大学トモダチ作戦～」と題して、個別にボランティア関係者の説明を聞き、自分に合ったボランティアを見つけるセミナーイベントを以下の日程で開催する予定です。他にも様々なイベントを開催します。ぜひ奮ってご参加ください！

〈開催日時・場所〉

※火曜日：学外団体、木曜日：学内団体

4月10日(火) 16:45～19:00 C101講義室

4月12日(木) 16:30～19:00 C202講義室

4月17日(火) 16:45～19:00 C101講義室

4月19日(木) 16:30～19:00 C202講義室

4月24日(火) 16:45～19:00 C101講義室

4月26日(木) 16:30～19:00 C202講義室

〈お問い合わせ先〉

東北大学東日本大震災学生ボランティア支援室

Tel: 022-795-7818 E-mail: volu-s@bureau.tohoku.ac.jp



Volunteer Seminar Journal ボランティア紹介特集号

2012年4月1日発行

発行者 東北大学東日本大震災学生ボランティア支援室

教育・学生支援部学生支援課内

〒980-8576 仙台市青葉区川内41

電話 022 (795) 7818

編集協力 東北大学地域復興プロジェクト"HARU"広報部

©2012 Tohoku University Printed in Japan